

学校教育目標 めざす生徒像	1 文武両道を推進する。
	2 「知・情・意・力」を身に付けた生徒を育成する。

達成度	A 達成(8割以上)
	B 概ね達成(6割～7割)
	C やや不十分(4割～5割)
	D 不十分(3割以下)

重点目標	1 「自主・自律の精神を持ち自走できる生徒」の育成
	2 「豊かな心を持つ生徒」の育成
	3 「チャレンジ精神に溢れる生徒」の育成
	4 「あらゆる場面で力を出し切る根拠ある自信を持った生徒」の育成

番号	評価項目	自 己 評 価		達成度	成果と課題、次年度への改善策	学校関係者評価	
		具体的方策と指標・基準等	目標の達成状況、達成に向けた取組み状況			評価	意見・要望・評価等
1	「自主・自律の精神を持ち自走できる生徒」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導の不断の研究</li> <li>大学入試問題研究と層別指導の推進</li> <li>志望達成に必要な家庭学習時間の確保と実践指導</li> <li>大学入試にも対応できる体系的な課題研究活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍における「学びの保障」のために弾力的・計画的に授業時数の確保を行った。</li> <li>国や県の事業への取り組みを通して、教科における探究型学習の研究を推進した。</li> <li>コロナ禍の影響で計画の修正に追われたが、年次・担当部内で情報を共有し、連携しながら課題研究活動を進めることができた。</li> <li>3年次探究科では、課題研究の英語によるプレゼンテーション(オンライン)を実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究型学習に関わるモデル授業の積極的な公開</li> <li>学力差と取り組みの差の拡大に対応した、層別指導や層別課題の研究</li> <li>課題研究の指導に関する実践の積み上げと総括の継続</li> <li>オンライン活用の増加に備えたノウハウ研究と展開</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍の中、授業時数を確保し学習の遅れを取り戻すべく工夫と指導がなされた。</li> <li>学力差と取り組み差の拡大に対応した、益々多様化する指導の徹底。</li> <li>特に、一年生に対し、自ら予習・復習を実行することの大切さを指導し、さらなる課題を見つけ、積極的に取り組むことの大切さを指導していただきたい。</li> </ul>
2	「豊かな心を持つ生徒」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>端正な装いと元気で明るい挨拶の推進</li> <li>学校の教育活動全体を通じた道徳教育の展開と日々の清掃活動の充実</li> <li>酒東生だからできる酒東生らしい社会貢献活動の推進</li> <li>武陵高級中学校等、海外交流校との積極的な交流活動の推進</li> <li>学年行事やLHR等を活用した仲間作りの推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>規則を大きく逸脱する生徒はおらず、全体として落ち着いた学校生活を送ることができた。</li> <li>地域での校外研修に、海岸清掃や森林整備のボランティア活動を取り入れ実施した。</li> <li>海外研修の中止により、直接外国人と交流する機会は減少したが、2年次スイデンテラス研修において、山大農学部留学生の方々と交流することができた。</li> <li>学校全体や年次・クラス単位での活動機会が制約される中、代替行事や創立百周年に向けた活動では、工夫を凝らした取り組みを行うことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の改善を要する生徒には、機を捉えて粘り強く指導を継続する。</li> <li>ボランティア活動等を通して気づいた地域の課題を課題研究のテーマとし、SDGsの視点を加えながら解決の方策を探らせる。</li> <li>学級活動が制限される可能性が高いので、機会を大切にし内容を工夫する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な生活習慣の徹底を粘り強い指導により、生徒達は落ち着いた学校生活を送っている。</li> <li>豊かな心＝感性は環境により育まれていくものである。現在、学校の環境は充分とは言えないまでも一応整っている。生徒達もそれに準じて安心して生活出来ている。</li> <li>酒東生らしい社会貢献活動を生徒に考えさせては？</li> <li>「あいさつ」を大切にし、品位を保ち、健康な身体で何事にも前向きに取り組み、誰とも良好な関係を持つことの大切さを悟らせること。(登下校の際の挨拶などは、大変良くなってきていると思います。)</li> </ul>
3	「チャレンジ精神に溢れる生徒」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会とかかわり、社会的課題と人生を結びつけて考え、高い志につながる指導の推進</li> <li>上位層グループの意識的形及び意欲の喚起と堅持</li> <li>個々の生徒の持つ強みを大きく伸ばす指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>マイプロジェクトやSDGsアワード等、各種コンテストに積極的に挑戦する生徒が出てきた。</li> <li>上位添削、「総合的な学習の時間」を活用した層別の進路研究を実施した。</li> <li>二者・三者面談を通して個別の相談を実施し、学習状況や進路志望・悩み等の把握に努め、文理選択や高い志望を維持する指導を行った。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通テスト問題の傾向分析と、授業の在り方を中心とした学習指導の点検</li> <li>個別面談を通じた粘り強い指導</li> <li>教科での習熟度別指導を活かした、より丁寧な指導</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒達との個別面談では個別の相談や悩みなどに応じて、チャレンジ精神が醸成できるよう取り組んでいる。</li> <li>外部への教育活動の積極的PRをより頑張ってもらいたい。</li> <li>部活動においては、参加することだけではなく、常に上位を目指すことの大切さを適切にアドバイスしていただきたい。</li> </ul>
4	「あらゆる場面で力を出し切る根拠ある自信を持った生徒」の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>心の健康の維持により、99%以上の出席率確保と93%以上の部活動加入の推進</li> <li>主体的な生徒会活動・生徒会行事の運営と充実</li> <li>凡事徹底の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出席率 1年 98.5% 2年 98.7% 3年 97.0%</li> <li>部活動では、大会等が中止となる中、感染予防対策を徹底しながら、地道に活動を継続した。</li> <li>コロナ禍で生徒会行事のほとんどが予定通りできなかったが、創意や工夫を凝らして新しいか形で実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナ対策の徹底と、対策の改善等の検討</li> <li>新年度の生徒会行事に関して、新しい形を模索しながら、満足度の高いものを目指す。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍で行事の殆どが予定どおり実施されない中、創立100周年記念行事に、生徒会として積極的に工夫して参画できた。</li> <li>日頃の教えに、素直に耳を傾け、理解し、行き詰まった時には分かるまで聞くことの大切さと、何事にも強い意志を持って取り組み、解決することの面白さ、大切さを自覚できるよう指導していただきたい。</li> </ul>
総 括		<ul style="list-style-type: none"> <li>普通科と探究科それぞれの特性を活かした指導方法・評価方法の研究と実践を継続する。</li> <li>層別指導など、きめ細かな指導体制の構築を推進し、拡大する生徒の多様化に対応する。</li> <li>課題研究、及び教科の授業における探究型学習の推進を通して、『解のない課題』に取り組む人材育成と大学入試改革への対応を進める。</li> <li>新学習指導要領の実施に伴う、新しい教育課程の研究と編成作業を推進する。</li> <li>国費導入を目指し、相応しい校内組織と教育課程の整備を進める。</li> </ul>			自己評価及び学校関係者評価の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前に評価資料を評価委員に送付し、内容を把握した上で会議に参加していただいた。</li> <li>評価アンケートの実施に係り、ICTの活用を検討したが、悉皆性と匿名性の両立が難しく、実現していない。引き続き検討したい。</li> </ul>	